

ひかいだよい

Vol. 48

院内保育所 ひかり



今月のねらい

- 夏疲れが出やすいので、生活リズムを整えながら過ごす。
- 身近な秋の自然に触れ、元気に遊ぶ。

日中はまだまだ暑い日が続きますが、朝夕はいつの間にか秋の気配が感じられるこの頃。過ごしやすくなったとはいえ、季節の変わり目で体調を崩してしまう子も多くなります。一日の気温の差が激しく、日中は熱中症を心配するほどですが、夜には肌寒くなるため、こまめに脱ぎ着をする必要があります。乳幼児は自分で体温を調節するのがまだ難しいため、気づかないうちに風邪を引いたり、体質によっては喘息を起こしたりすることもあります。汗や鼻水などの様子に気を付けるようにしていきたいと思います。涼しい日にはなるべく戸外へ散歩に出掛け、コオロギやトンボを見つけて、追いかけてっこをして、心も体も思いっきりはずんで、秋の訪れを感じたいと思います。



9月の行事予定

- 3日(月) 身体測定
- 5日(水) 避難訓練(火災)
- 27日(木) 誕生日会
- 10日(月)～21日(金) 慣らし保育

※毎週土曜日 布団カラー帽子
持ち帰り

9月1日は防災の日 防災意識を高めましょう!

ゲリラ雷雨の落雷で、多くの方がお亡くなりになっています。子ども達も雷のゴロゴロ・ピカピカは、とても怖がっています。「火事の時」「地震の時」「雷の時」等、日頃の防災訓練をしっかり行うことで適切な避難行動がとれるよう、意識を高めていきたいと思ひます。



キティちゃんのドールハウスをいただきました。初めて遊ぶ玩具に夢中で、お姉ちゃん達は、きれいに家具を並べてお部屋作りを楽しんでいます。室内遊びがまたひとつ増えて、よかったね♪



爽やかな秋の風が吹いていて、外で思い切り体を動かすのに最適の季節になってきました。お砂場デビューした赤ちゃん達は、鍋やコップにいっぱい砂を入れ、砂の感触を楽しんでいます。



水にすっかり慣れた小さいお友達、手から足から自分でプールに入ろうとするくらいに、水遊びが大好きになりました。今年は猛暑でプールの水温も温泉みたいになり「いい湯だなあ～」と気持ち良さそうでした♪



なつまつり



雷から身を守るには…

雷鳴が聞こえるなど雷雲が近づく様子がある時は、落雷が差し迫っています。以下のことを念頭に速やかに安全な場所へ避難することが、雷から身を守るために有効です。

雷に遭遇した場合は安全な空間へ避難

雷は、雷雲の位置次第で、海面、平野、山岳等と場所を選ばずに落ちます。近くに高いものがあると、これを通して落ちる傾向があります。グランドやゴルフ場、屋外プール、堤防や砂浜、海上などの開けた場所や、山頂や尾根などの高いところなどでは、人に落雷しやすくなるので、できるだけ早く安全な空間に避難して下さい。鉄筋コンクリート建築、自動車(オープンカーは不可)、バス、列車の内部は比較的安全な空間です。また、木造建築の内部も基本的に安全ですが、全ての電気器具、天井・壁から1m以上離れば更に安全です。

安全な空間に避難できない場合の対応

電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げ、4m以上離れた範囲(保護範囲)に退避します。高い木の近くは危険ですから、最低でも木の全ての幹、枝、葉から2m以上は離れて下さい。姿勢を低くして、持ち物は体より高く突き出さないようにします。雷の活動が止み、20分以上経過してから安全な空間へ移動します。(気象庁より)

